



# 学校だより

No.3 6月号

令和5年5月31日

横浜市立洋光台第四小学校

～ 手をとるあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～

ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

## 全校遠足を終えて

校長 山口 高弘

学校だより5月号でお知らせしたツバメの巣ですが、今年はカラスの被害を受けることなく巣作りが進んでいます。巣の様子を見ると、ひながかえり親ツバメがせっせと餌を運んでいました。季節は、春から初夏へと移り変わっています。子どもたちも新学期の緊張感がほぐれ、学級の中で少しずつ自分のよさを発揮し始めているようです。



5月26日金曜日に「全校遠足」を行いました。この日は、しんめ班（1年生から6年生までが縦割りで活動します。）で、学校や南公園、こども宇宙科学館の3か所を班ごとに巡りました。この『しんめ班』は本校の特色でもあり、1年生から6年生と一緒に活動し共に成長していく場として捉えています。子ども一人ひとりの成長だけでなく、学校全体の結束力や友情の築くためにも大いに役立っています。

当日に至るまでに、6年生は仲良くなるために計画を立てて、しんめ班活動を行ったり、みんなが安全に活動できるようにそれぞれの場所を下見に行ったりしていました。それら全てが班のみんなが楽しめるようにという思いからです。

当日も6年生を中心に5年生や4年生も下級生に優しく声をかけたり、行動を共にしたりする姿を多く見ることができました。さりげなく手をつないで行動を促したり、体の具合を確認したりする6年生はとても素晴らしく、さすが洋光台第四小学校の最上級生と感じ、5時間目に6年生の各教室に全校遠足成功のお礼を伝えに行きました。さすがに疲れたようでしたが、どの子もやり切った満足感や充足感を味わった顔をしていました。一人ひとりが考え、行動に移した6年生をととても誇りに思います。

このしんめ班活動では、上級生が下級生に教える役目を担ったり、下級生が上級生から学んだりすることを通して、お互いに刺激を与え合い成長することができます。またしんめ班活動では、異なる学年と一緒に活動することで、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力、協力する力など様々なスキルや力を体験的に身に付けることができます。その他に上級生が下級生に対して責任感をもち、声掛けと一緒に活動することで、教えることの喜びや楽しさを感じる機会にもなります。

しんめ班活動は学校生活をより豊かにし、子どもたちの学びや成長を促進する重要な取り組みです。子どもたちがお互いに理解し合い、協力し合いながら充実した学校生活を送ることができるよう、様々な取り組みを行っていきます。保護者や地域の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。